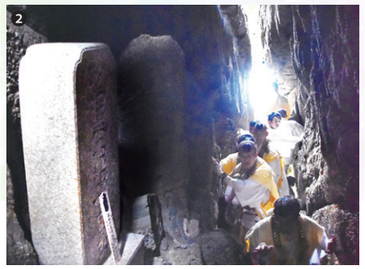
加太から望む葛城修験の出発点

生命力と癒しに満ちたわかやまブルー

太古からの奇跡、白崎海岸

海の向こうの観音浄土を目指す那智の浜









❶加太にある淡嶋神社。医薬の神様をお祀りし女性の病気回復や安産・子授けなどに霊験あらたかといわれている。❷友ヶ島にある序品窟。修験道の聖地「葛城修験」の第一番経塚である。注意していないと見逃してしまうほど入り口は狭い。（現在虎島に渡る事はできません）❸白崎海洋公園にある展望台。雄大な景色を堪能できる。❹那智勝浦町にある補陀洛山寺境内に展示されている補陀落渡海船。絵図や文献などをもとに1993年に復元された。

和歌山市の西端に位置する、風光明媚な加太。歴史ある淡嶋神社や温泉があり、鯛をはじめ新鮮な魚介が水揚げされる漁師町としても知られている。青く美しい紀淡海峡の先に、ぽっかりと浮かぶのが友ヶ島だ。古事記や日本書紀にも登場する、伝説と歴史に彩られた無人島で、加太港から船で渡ることができる。黒船来航を機に大阪湾を守る要衝とされ、第二次世界大戦が終わるまで一般の立ち入りが禁じられていた島内には、今も旧日本軍の砲台跡などが残る。また、役行者が開いた葛城修験の第一の霊場がある地であり、役行者にまつわる祠堂なども残されている。悠久の歴史に思いを馳せながら、穏やかな島の風景に心が癒されていく。

由良町の白崎海岸は、〝日本のエーゲ海〟とも呼ばれる景勝地。真っ白な石灰岩は約2億5000万年前に形成された地層で、地殻変動によって隆起し、青い海との美しいコントラストを生み出した。長い年月をかけて刻まれた、地球規模の大きな変化。その雄大な景観に、自然の神秘と生命の力強さを感じる。

そして、日本人の信仰心に深く触れるのが、補陀落渡海が行われた那智の浜。穏やかな海が広がる今の風景からは想像しにくいが、補陀落渡海とは、わずかな水や食料を積んだ小舟で、水平線の彼方にある観音浄土を目指す決死の捨身行であった。

和歌山の景色を彩る、青い空と海。その間に遠く伸びる一筋の水平線。空と海が織りなす、癒しに満ちた〝わかやまブルー〟。視界いっぱいに広がる美しい風景に、心がゆっくりとほどけていく。